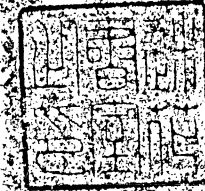


明治九年八月上梓

中根淑著

日本小文典

迷花書室藏



叙

余嚮ニ日本文典ヲ著シ、吾ガ國ノ文法ヲ論ズ、中ニ就キテ疑難アル者ハ、從フテ之ヲ論辯ス、其ノ說未必シモ疵瑕無クンバアラズト雖、幸ニ時人ノ棄ツル所ト為ラズ、以世ニ行ハル、一ヲ得然レ共書中議論甚多ク、之ニ加フルニ、例文槩古書ニ由ルヲ以、初學ノ徒、或ハ其ノ解シ易カラザルヲ憂フル者アリ、是ヲ以今特ニ其ノ煩ナル者ヲ棄テ、其ノ簡ナル者ヲ収メ、且今時郷校用フル所ノ書類ニ就キテ、其ノ例文ヲ採リ、務メテ其ノ義

ヲシテ、會得シ易カラシム、書成ル、分チテ二卷ト
ナシ、之ヲ名ケテ日本小文典ト云フ、小學童生先
此ノ書ニ由リ、文法ノ大綱ヲ領シ、而後其ノ細目
ヲ求メバ、豈解シ難キノ文法アラシヤ、

明治九年七月

中根淑識ス

小文典卷之上

中根淑著ス

○言葉ハ、己ノ思フ事ヲ顯ス為ノ者ニシテ、色々
ナル聲ヲ、合ハセテ造リタル者ナリ、此ノ聲ノ目
印ニ用フル者ヲ字ト云ヒ、其ノ字ヲ連子テ、話シ
ノ如ク書キタル者ヲ文ト云フ、元來言葉ニハ、夫
々極リタル順アリテ、話シトナルヲ故、其ノ順ヲ
違ヘズニ、字ニテ書クヲ文法ト云フ、故ニ此ノ文
法ハ、己ノ存シ寄リニテ、妄リニ定ムベキニ非ズ、

何レモ昔ヨリ用ヒ來レル言葉ト、昔ノ學者ノ記シ置カレタル所トヲ以、正シトスルヲナレバ、人々之ヲ誤ラザル為ニ、文典ヲ學ブベキナリ、文法ヲ別チテ四種トナス、則、文字論、言語論、文章論、音調論、是ナリ、文字論ハ、文字ノ譯ヲ論ジ、言語論ハ、言葉ノ別チヲ論ジ、文章論ハ、文章ノ締メ括リヲ論ジ、音調論ハ、聲ノ調子ヲ論ズ、

○文字論

伊呂波

○日本ノ音凡四十七アリ、故ニ其ノ字数亦四十

セアリ、即イロハニホヘトチリヌルヲワカヨク
レソツ子ナラムウサノオクヤマケフコエテア
サキユメモシエビモヤス是ナリ、此ノ形ノ字ヲ
片假名ト云フ、又いろはにはへとちりぬるをわ
かよたれろつねならむうゐのれくやまけぶこ
にてあさきゆめみしゑひもせすノ如キ形ノ字
アリ、之ヲ平假名ト云フ、又いほもかぢやちり
ほみぢのゑととせそけねるゑやうみおく
るきぬあえろけぬえととせむせぬえハ如
キ形ノ字アリ、之ヲ中假名ト云フ、以上何レモ文

字ノ形ニ違ヒアルノミニテ、讀ミ聲ニ於キテハ、
少モ變リタルナキナリ、但シ之ヲ伊呂波ト云
フ者ハ、其ノ最初ノ三字ヲ採リテ、名ケタルナリ、
伊呂波ノ外、別ニシノ字アリ、昔ハ唯ハム字ヲ用
ヒタリシガ、後ニハムトシテ、自分ル、トナリ
タリ、之ヲ變音ト云フ、此ノ字平假名中假名共ニ
人ヲ用フ、
ツハ時ニ由リテ、聲ノ半分ヲ用フルナリ、勝
テヲ勝ツテト云フガ如シ、是モ亦變音トス、
片假名ノ文字ヲ畧シ、二字ヲ合ハセテ、一跡トシ

タル者アリ、即トキラハ、トモヲ氏、コトヲ、シテ
ヲメト合ハセタルガ如シ、

五十音

○伊呂波四十七字ヲ、聲ノ都合ニ由リテ、横縦ニ
並ベタル者ヲ、五十音ト云フ、其ノ中イウエノ三
字ヲ、二處ニ用フル故、合ハセテ五十字トナルナ
リ、其ノ縦ノ行ヲ縦行ト云ヒ、横ノ行ヲ横行ト云
フ、即左ノ如シ、

五十音ノ圖

阿 ^ア 行	横	阿 ^ア
伊 ^イ 行	横	伊 ^イ
宇 ^ウ 行	横	宇 ^ウ
衣 ^エ 行	横	衣 ^エ
於 ^オ 行	横	於 ^オ

阿 ^ア 縦行	ア	イ	ウ	エ	オ
加 ^カ 縦行	カ	キ	ク	ケ	コ
佐 ^サ 縦行	サ	シ	ス	セ	ソ
多 ^タ 縦行	タ	チ	ツ	テ	ト
奈 ^ナ 縦行	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
波 ^ハ 縦行	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
麻 ^マ 縦行	マ	ミ	ム	メ	モ
也 ^ヤ 縦行	ヤ	イ	ユ	エ	ヨ

良 ^ラ 縦行	ラ	リ	ル	レ	ロ
和 ^ワ 縦行	ワ	ヰ	ウ	エ	ヲ

子母音

○阿縦行^アイ^イウ^ウエ^エオ^オノ五ヲ、母音ト云ヒ、其ノ餘
 ヲ、子音ト云フ、其ノ故ハ、^アイ^イウ^ウエ^エオ^オノ五ハ、雜
 ナキ音ニテ、初ノ^アト呼ベバ、何時迄引キテモ、^ア
 ノ聲殘ルナリ、^イウ^ウエ^エオ^オモ皆斯クノ如シ、其ノ餘
 ノ音ハ、盡ク雜リタル音ナリ、比ヘバ阿横行ノ^カ
^カタ^タナ^ナハ^ハマ^マヤ^ヤラ^ラワ^ワヲ、長ク引キテ呼ベバ、初ノニ

出シタル音ハ消エテ、唯アノ音ノミ殘ルナリ、伊
横行ナレバ、イノ音ノミ殘リ、宇横行ナレバ、ウノ
音ノミ殘ル、衣於ノ横行モ、皆斯クノ如シ、故ニ子
音ハ、母音ニ由リテ生ズル者ト知ルベシ、
右ノ内、ヤユヨト、ワヰエヲノ七音ハ、母音ヲ二合
ハセタル音ナリ、即イアヲ誥メテヤ、イウヲ誥メ
テユ、イオヲ誥メテヨ、ウアヲ誥メテワ、ウイヲ誥
メテヰ、ウエヲ誥メテヱ、ウオヲ誥メテヲトナル
ナリ、
前ニ舉ゲタル、五ノ母音ノ外、ヤユヨ及ビワノ四

音ハ、時アリテ、母音トナルイアリ、即シヤ・チ・ユ・リ
ヲ・ワ・等ノ如シ、尤是ハ漢字ノ音カ、又ハ西洋ヨ
リ来リタル言葉ナラデハ、無キイナリ、

濁音

○加佐多波縦行ノ二十音ハ、濁リタル音ニ讀ム
イアリ、其ノ時ハ、右ノ肩ニ二ノ小キ點ヲ添ヘテ
印トス、即ガギグゲゴ・ザジズゼゾ・ダヂツテド・バ
ビブ・ポ・等ノ如シ、

半濁音

○波縦行ノ五音ハ、時アリテ唇ヲ彈ク様ニ發ス

ル_一アリ、是ヲ半濁音ト云フ、其ノ時ハ、右ノ肩ニ
小_一キ圈ヲ添ヘテ印トス、即_一パ_一ピ_一プ_一ボ_一等ノ如シ、

假名遣_ヒ

○古キ昔言葉ヲ文字ニ移スニハ、假名ノ遣ヒ方、
明ニ分チアリシ_一ナリ、追ヒ々々年々経ルニ從
ヒテ、言葉ハ訛リモ出デ、便利ニモ就ク故、時ニ由
リテハ、本ノ音ト違ヒテ響ク_一アリ、比ヘバ、人ハ
萬物ノ靈ナリト云フ文ノハハ、本ノ音ヲ失ヒテ、
ワト響ク_一ガ如シ、然レ共文字ニ書クニハ、昔ヨリ
ノ法ニ從ヒテ、必_一ハト書クベキ_一ナリ、此ノ類言

葉中ニ甚多キ故、之ヲ違ヘザル様ニ、氣ヲ付ケ、テ
覺ユベシ、今其ノ一二ヲ擧ゲテ、之ヲ示スベシ、

イ_一斗_一ヒノ音、兎角誤リ易シ、比ヘバ擢_一ヲカヒ、鳥居_一

ヲトリイト書クガ如シ、

ワノ音亦然リ、比ヘバ嚙_一ヲクツハ、瓦_一ヲカソラ

ト書クガ如シ、

ホヲオノ音亦然リ、比ヘバ顔_一ヲカラ、鴛鴦_一ヲオシ、

帶_一ヲビト書クガ如シ、

ヘエエノ音、亦混ジ易シ、比ヘバ家_一ヲイエ、枝_一ヲエ

ダ、繪_一ノ具ヲエノ具ト書クガ如シ、

ハシノ音亦然リ、比ヘバ紅葉^{モミジ}ヲモミジ、雉^{ヤシ}ヲキデ

ト書クガ如シ、

ツズバ音亦然リ、比ヘバ鶉^{ウツ}ヲウスラ、鼠^{ネズミ}ヲ子ツミ

ト書クガ如シ、

右ノ外、働^{ハタ}キニ用フル言葉ノ終リハ、尤氣ヲ付ケ

テ知ルベキナリ、比ヘバ笑^{ワラ}ヲワラウト書キ、

消^{キヲ}エヲキヘト書クガ如シ、

漢語ハ、漢土ノ文字ヲ音讀^{オンブク}ニシテ、日本ノ言葉

ト同様ニ用フル者ナルガ、其ノ音モ、假名ニテ綴^{ツグ}

ルハ、皆極リアルナリ、比ヘバ學校^{ガクカウ}ノ校^{カウ}ハ、コ

ウト書ク音ニ非ズ、文字^{モンジ}ノ字^ジハ、ゲト書ク音ニ非

ザルガ如シ、是亦心ヲ用フベキナリ、

漢字ノ用ヒ

○日本ノ言葉ヲ、假名ニテ綴ルヤハ、或ハ唯一ノ

言葉ニテモ幾字モ用ヒザレバ、書キ載スルナ能

ハザル者アリ、然ルニ漢土ノ文字入り来リタル

神^{カミ}ト云フ音ノ字ニハ、其ノ意味ニ由リテ、日本

ノカミト云フ言葉ヲ付ケ、人^{ヒト}ト云フ音ノ字ニハ、

ヒト、云フ言葉ヲ付ケ、其ノ他總ベテノ漢字ニ、

皆斯クノ如ク言葉ヲ付ケテ、遂ニ文字ノ形ヲ目

當テニ、之ヲ訓讀シテ、一々假名ヲ用ヒザル習ハ
セト為リタリ、是ハ數多ハ假名ヲ用フルヨリ、餘
程便利ナル所アルヲ以ナリ、然レ共言葉ノ都合
ニ由リテ、間ニ假名ヲ加ヘザレバ、其ノ意味充分
ニ通ゼザル故、遂ニ兩ナガラ雜ヘ用フルトナ
リタリ、

○言語論

名詞

○名詞ハ、物ヤ事ノ名目ニシテ、文章ノ中ニテ、常
ニ本トナル者ナリ、即天地日月海山人畜草木鳥

虫ヨリ、善惡貪富賢愚喜怒ニ至ル迄、凡名目ヲ立
テタル者ハ、皆之ヲ名詞ト云フ、其ノ中三種ノ差
別アリ、一ヲ普通名詞ト云ヒ、一ヲ固有名詞ト云
ヒ、一ヲ無形名詞ト云フ、

○普通名詞ハ、物ノ一類ニ就テ付ケタル名目
ナリ、比ヘハ草ト云ヒ、木ト云ヒ、鳥ト云ヒ、虫ト云
ヘバ、何レノ草木ニモ、何レノ鳥虫ニモ、通用スル
名目ニシテ、普通名詞ナリ、是ヨリ一段小分ケシ
テ、菊ト云ヒ、萩ト云ヒ、松ト云ヒ、梅ト云ヒ、鶴雁蛇
蛙ト云フモ、是又何レノ菊萩松梅鶴雁蛇蛙ニモ、

固有
名詞

通用スル名目ナリ又普通名詞トスルナリ、
○固有名詞ハ、同類中ノ一物ニ限リテ付ケタル
名目ナリ、比、バ國ニ就キテ云ヘバ、日本支那英
吉利ノ類日本内ノ國ニ就キテ云ヘバ、山城大和
河内ノ類府縣ニ就キテ云ヘバ、東京府神奈川縣
ノ類山川ニ就キテ云ヘバ、富士山利根川ノ類其
ノ外、人ニ就キテ云ヘバ、義經辨慶ノ類松ニ就キ
テ云ヘバ、唐崎松ノ類劍ニ就キテ云ヘバ、草薙劍
ノ類ノ如ク、何レモ唯其ノ一物ニ付ケタル名目
ニシテ、同類中ニテモ、外ニ通用セザル者
ハ、

無形
名詞

數

之ヲ固有名詞ト云フナリ、

○無形名詞ハ、仕業ヤ理窟ノ上ニテ、其ノ名目
レ共、外ノ品物ノ様ニ、形ヲ持タヌ者ヲ云フ、即春

夏秋冬、東西南北、及ビ信義親愛ノ類ヲ云フ、

○前ニ掲ゲタル三種ノ名詞ニ、何レモ數ト云フ
ヲアリ、其ノ數ニ又二ノ差別アリ、一ヲ單數ト云
フ、一ヲ複數ト云フ、

單數トハ、幾箇アル者ニテモ、唯其ノ内ノ一ヲ顯
スヲ云フ、複數トハ、二ヨリ以上ノ物ヲ、一所ニ合
ハセテ顯スヲ云フ、日本ニテハ、是ハ單數、是ハ複

数ト、別ニ文字ヲ分ツトハ無ケレ共、前後ノ文章
ノ様子ヤ、別ニ言葉ヲ添フルト杯ニテ、其ノ複数
ナルトヲ頭スナリ、此ニ地球ノ表面ニ縦横ノ
線アリト云フ文ノ線ハ、上ニ縦横ト云フ言葉ア
ルヲ以、複数ナルト明ナリ、經線ハ皆南北ノ極ヨ
リ引ギ出シタル圓ナルヲ以ト云フ文ノ經線ハ、
下ニ皆ト云フ言葉アルヲ以、亦複数ナルト明ナ
リ、此ノ兒等ハ學校ニ行クヲ樂ミト思ヘリヤト
云フ文ノ兒ハ、別ニ等ト云フ言葉ヲ添ヘタルニ
テ、是亦明ニ複数タルトヲ知ルナリ、其ノ外、山々

川々、人々ノ如ク、重子タル言葉ニテ、複数ヲ顯ス
トモアルナリ、
○名詞ノ中、人ニ就キタル言葉ニハ、性ト云フ
アリ、其ノ性ニ男性女性ノニアリ、
○男性ト云フ、天子親王ヨリ、殿ト云ヒ、息ト云ヒ、夫
ト云ヒ、婿ト云ヒ、下男ト云フ如ク、總ベテ男ニ就
キタル言葉ヲ云フ、
○女性ト云フ、皇后皇女ヨリ、奥ト云ヒ、娘ト云ヒ、妻
ト云ヒ、嫁ト云ヒ、下女ト云フ如ク、總ベテ女ニ就
キタル言葉ヲ云フ、

動詞狀
ノ名詞

○動詞ニ作リタル言葉ヲ其ノ儘名詞ニ用フル
「エリ」之ヲ動詞狀ノ名詞ト云フ、比ヘバ「讀ミト
云フモ、書キト云フモ、富ミト云フモ、本ハ動詞ナ
レ共、讀ミ書キノ外ハ算術ヲ學ブベシト云フ文
ノ讀ミ書キ、及ビ家業ヲ勵メハ富ミヲ致スト云
フ文ノ富ミ杯ハ、皆名詞トシテ用ヒタルナリ、
○異體ノ言葉ヲ以、稀ニ名詞トスル「アリ、即、再
歸リ來ルベキカ又其ノ儘ニ飛ビ去ルカト云フ
文ノ儘ト云フ言葉、及ビ彼ノ子ハ彼ノ小女ノ為
ニ親切ナリヤト云フ文ノ為ト云フ言葉ノ如キ

異體ノ
名詞

合成名
詞

是ナリ、是等ハ何處ヘ用ヒテモ、必名詞ト云フ譯
ニハアラ子共、前ニ掲ゲタル文ノ如クニ、用ヒタ
ルキハ、必名詞トナスベキナリ、
○種々以言葉ヲ合セテ、一ノ名詞ト為シタル
者ヲ、合成名詞ト云フ、比ヘバ「手習ヒト云フハ手
ト云フ言葉ト、習ヒト云フ言葉トヲ合ハセテ、一
ノ言葉トナシタル者、綿入レト云フハ、綿ト云フ
言葉ト、入レト云フ言葉トヲ合ハセテ、一ノ言葉
トナシタル者、其ノ外、書名ノ小學讀本、地理初歩、
地名ノ磨針峠、親知ラズ、器械ノ顕微鏡、蒸氣車ノ

類モ、皆種々ノ言葉ヲ合セ、タ、此者ナレ共、其ノ物其ノ處ノ名ヲナク、上ニ引キ括テ、一ノ名詞トスルナリ、又熟語、運動、今年、養生ノ類モ、此ノ例ニ從フテ、別ニ其ノ言葉ヲ分タズ、亦一ノ名詞ト見做スベキナリ、

○代名詞、人又ハ物事ノ名ノ代リニ用フル者ニシテ、自分ノ名ノ代リニ「吾」ト云ヒ、相手ノ名ノ代リニ「汝」ト云ヒ、他人ノ名ノ代リニ「彼」ト云ヒ、事ヤ物ヲ指シテ、是ト云ヒ、其ト云フ類ナリ、比ヘバ

神武天皇ノ「吾」將ニ東征シテ都ヲ中州ニ定メ、ト宣フ中ノ「吾」ト云フハ、神武天皇ガ、自御名ノ代リニ用ヒ給フ者、又馬子病ノ為ニ佛ニ禱ラン「ヲ」請フ天皇乃勅シテ曰ハク「汝」獨是ヲ為ヨト云フ文ノ「汝」ト云フハ、敏達天皇ガ、相手ノ馬子ツ名ツ代リニ用ヒラレ、是ト云フハ、前ノ佛ニ禱ラント云フ事柄ノ代リニ用ヒラレタル如キノ類ナリ、此ノ代名詞ト云フ者ハ、話シノ上ニテモ、文章ノ上ニテモ、誠ニ便利ナル者ナリ、今其ノ種類ヲ分チテ三種トス、則人代名詞、普通代名詞、疑問代名

人代名詞

真称代名詞

假称代名詞

詞等ナリ、

○人代名詞ハ、總ベテ人ノ名ノ代リニ用フル者ヲ云フ、其ノ中ニ二ノ差別アリ、一ヲ真称代名詞ト云ヒ、一ヲ假称代名詞ト云フ、

○真称代名詞ハ、言葉ヲ作りタル初メヨリ、真ニ人ノ名ノ代リトシテ、拵ヘタル者ヲ云フ、即、吾、汝、彼等ノ類ナリ、

天子ガ自朕ト宣フモ、下々ヨリ天子ヲ陛下ト呼フモ、又ハ我々ガ、相互ニ拙者ト称シ、足下ト呼フ類モ、初メヨリ代名詞ニ作りタル言葉ナレバ、亦

真称代名詞トスルナリ

○假称代名詞ハ、其ノ言葉ヲ造リタル初メ、代名詞ニ用ヒタルニハ非ザリシカ共、年ヲ経ルニ從ヒテ、代名詞ニモ假リ用フル様ニナリタル者ヲ云フ、即、僕ト云フハ、奴僕ノトナルヲ、假リテ吾ノ場所ニモ用ヒ、君ト云フハ、君主ノトナルヲ、假リテ汝ノ場所ニモ用フル類ナリ、其ノ外、臣ト云ヒ、妾ト云ヒ、私ト云ヒ、那方ト云フモ、皆此ノ例ト知ルベシ、

○人代名詞ニハ、必三ノ所有スル者アリ、則人稱

人称

ト数ト性トノ三ナリ、

一人称ニ又三ノ別チアリ、第一一人称、第二二人称、第三三人称、

一人称トハ、自分ノ名ノ代リニ用フル者ヲ云フ、
二人称トハ、自分ノ相手ノ名ノ代リニ用フル者
ヲ云フ、三人称トハ、自分ト相手ノ外ナル人ノ名
ノ代リニ用フル者ヲ云フ、即我ハ馬ニ乗ル_一ヲ
好_メリト云フ文ノ我ハ、一人称、汝ハ馬ニ乗ル_一
ヲ好_ムカト云フ文ノ汝ハ、二人称、彼ノ如ク疾ク
乗ル_一ヲ好マス_ト云フ文ノ彼ハ、三人称ナリ、此

数

性

外ノ人代名詞モ、皆此ノ例ナリ、

是其ヲ人代名詞トシテ遣フ_一、一人称ノ是ヲ、時
トシテハ二人称ニモ、三人称ニモ用_ヒ、二人称ノ
其ヲ三人称ニモ用_フ、即是ハ何物ゾ是ニ尋ヌベ

シ其ニ問フベシ等ノ如シ、

○人代名詞ノ数モ、名詞ノ如ク重複ノ差別アレ
共、大抵ハ等供連等ノ言葉ヲ添ヘテ、複数ヲ顯ス
テ、前後ハ文章ノ様子ニテ顯ス_一ハ、至リテ
稀ナリ、

○人代名詞ノ性ハ、男性・女性・通性ノ三ニ分ツ、是

ハ、真称・假称・ニ拘ラズ、男ニノミ用フル僕ノ如キ
 ハ、男性トシ、女ニノミ用フル妾ノ如キハ、女性ト
 シ、男ニモ女ニモ通シテ用フル余・汝・是・其ノ如キ
 ハ、通性トス、

人稱及ビ性ノ圖

一 人 稱			
普	假	真	
	僕 ボク	某 カレ	男性
	妾 メカ		女性
是 コレ 是 コレ	私 シ	余 ワレ 余 ワレ 已 オン	通性

二 人 稱			三 人 稱		
普	假	真	普	假	真
					足下
是 カレ 是 カレ 其 カレ 其 カレ			是 カレ 是 カレ 其 カレ	君 キミ 那 ソノ 方 トコロ	汝 ナニ 汝 ナニ

普通代名詞

○普通代名詞ハ、コレ・コレ・ソレ・ソレ・カ・カル・ア・アル・等
 ナリ、是ハ人ニモ物ニモ、又ハ事ニモ、通ジテ代ヘ
 用フル者ナルガ故、普通代名詞ト云フナリ、是ヲ

物事ノ代リニ用フルハ、即是ハ金其ハ銀他ハ鉛
及ヒ虚言ノ惡キ事ハ屢之ヲ聞ケリ等ノ如シ、
普通代名詞又事物ニ用フルキハ、別ニ人稱ヤ性
ノ如キ差別ハナケレ共、唯数ノミアルナリ、尤是
ハ名詞ノ數ノ如ク、前後ノ文章カ、又ハ外ニ等ノ
字杯ヲ添フルニテ、之ヲ顯スナリ、即鏡_{ミタマ}至_ニヲ鳥
羽ニ迎ヘテ是ヲ温明殿ニ安シスト云フ文ノ是
ハ、上ニ鏡_{ミタマ}ト至_ニトノニアルヲ以、複数タルヲ知
ルナリ、

○是其_カ彼_カニ後詞ノノヲ添ヘテ是ノ其_カノ彼_カト

遣フキ、上ヲ指スモアリ、又ハ下ヲ指スモア
ルナリ、即此ノ鳥ハ其_カノ性水上ニ泳グヲ好メ
リト云フ文ノ、此_カノ其_カノハ、何レモ鳥ヲ指ス言葉
ナレ共、一ハ上ヨリ下ヲ指シ、一ハ下ヨリ上ヲ指
スノ違ヒアルナリ、此ノ上ヲ指ス者ハ、全ク代名
詞ナレ共、下ヲ指ス者ハ、形容詞ノ形アルヲ以、代
名詞狀ノ形容詞トスルナリ、

○代名詞中キ、一種名詞狀ノ代名詞ト云フアリ、
即前後ニ攀グル事物ノ代リニ、右ノ通り、左ノ通
リ杯ト用フル類ナリ、是ハ元來名詞ナレ共、姑假

疑問代名詞

合成代名詞

リテ代名詞トスルナリ、
○疑問代名詞ハ、人ニテモ、事物ニテモ、明ニ定メテ言ヒ難キ者ニ用フル言葉ナリ、即狼來レリ誰カ出デ、救ヒ給ヘ又此ノ小兒ハ何ノ書ヲ讀ムルヤ等ノ文ノ誰何ノ如キ類ヲ云フナリ、
○代名詞中此方其方那方杯ト云フ類ハ一躰此ノ方其ノ方那ノ方ト云フニテ、他ノ言葉ヲ付ケ合ハセタル者ナレ共、一ノ言葉トシテ用フル上ハ、則合成代名詞トスルナリ、

形容詞

語尾ニハ形容詞

○形容詞ハ、大抵名詞ノ上又ハ下ニ在ルカ、或ハ外ノ言葉ヲ隔テ、其ノ物事ノ大小長短輕重善惡杯ノ有リ様ヲ精ク顯ス者ナリ、又時ニ由リテハ、代名詞ヲ形容スルコトモアリ、即賢キ人聲ヲ動ト揚グル余慨然トシテ等ノ如シ、
○形容詞ノ状ニ、三ノ種類アリ、第一語尾ニキヲ含ミタル者、第二外ノ詞ヲ履ム者、第三形ヲ變ゼザル者、

○第一語尾ニキヲ含ミタル者トハ、即善キ小兒惡キ小兒淺キ川深キ川樂キ事美キ花等ノ如シ、

外ノ詞
ヲ履ハ
形容詞

○第二外ノ詞ヲ履ム者トハ、其ノ言葉ノ下ニ、助
 動詞ノ・タリ・タル・ナル、又ハ後詞ノ・ヲ添ヘテ意
 味ヲ顯ス者ナリ、
 ・タリ・タル・ヲ添フル者トハ、即人心騷然タリ、渺茫
 タル、沙漠古ノキタル家等ノ類ナリ、
 ナルヲ添フル者トハ、愚ナル人、暖ナル日、柔和ナ
 ル馬等ノ類ナリ、
 ノヲ添フル者トハ、廣漠ノ荒原、夢ノ世等ノ類ナ
 リ、
 者ト・ヲ添フル者ニ、形容詞トナル者トナラザル
 武藏ノ荒原、世ト云フハ、武藏モ若モ名詞
 ニシテ、形容詞ニ非ズ、此ノ別ナハ、上ノ言葉ノ重

形
容
詞

第三形ヲ變ゼザル者トハ、即巉巖、突兀、風蕭々
 寺ノ類ナリ、是ハ語尾ヲ變化スルデモ無ク、外ノ
 詞ヲ履ムデモ無ク、其ノ儘ニテ、直ニ形容詞トナ
 ル者ナリ、
 右三法ノ内、形容詞ヲ二重子テ、青白キ色、高ク大
 ナル山、杯ト用フルヲアリ、此ノ上ノ形容詞ノ語
 尾ヲ、青キ・高キ・ト云ハザル者ハ、下ノ白キト、大ナ
 ル・トヘ續クル、言葉ノ都合宜シカラザレバナリ、
 其ノ他之ヲ推シテ知ルベシ、

○凡形容詞之ヲ分チテ三種トス、一ヲ數形容詞トシ、一ヲ尊称形容詞トシ、又一ヲ一般形容詞トス、

○數形容詞ハ、物ノ數ヲ形ス者ナリ、之ニ基数序數ノ二アリ、

○基数ニ又二ノ差別アリ、一ヲ定數ト云ヒ、一ヲ不定數ト云フ、

○定數トハ、一・二・三・四・ヨリ、百・千・萬・億ニ至ル迄ノ數ヲ以形容スルヲ云フ、即六十間一町等ノ如シ、數ハ、時ニ由リテ、動詞又ハ副詞ヲ形容スルニア

リ、即之ヲ一統ス、一時ニ來ル等ノ如シ、

數ハ、何レモ形容詞ナレ共、一ガ一・二ガ二ト

云フ如ク、唯勘定ノ目錄ニノミ舉グル類ハ、品物

ノ數ヲ形容スルニ非ザレバ、皆名詞トスルナリ、

○不定數トハ、多キ人・寡キ机・數多ノ小兒・僅ノ書

物ノ如ク、物ノ多少ニ拘ラズ、其ノ數ノ定ナラス

キニ用フル者ヲ云フ、

名詞代名詞ノ複數ヲ顯ス為ニ用フル、友・達・子供

彼等・等ノ・達・供等ノ類モ、亦不定數ト知ルベシ、

○序數トハ、物事ノ次第順序ヲ並バ立ツルキ、用

フル数ヲ云フ、即第一代、第二代、三番、四番、卷五、卷六、等ノ如シ、是ハ基数ニ用フル数字ト、其ノ形少モ變ラ子共、第番、卷、杯ノ名詞ニ添フテ、其ノ用ヒ方ヲ異ニスルナリ、分ケテ云ヘバ、基数ハ物ノ勘定スル為ノ数、序数ハ順ヲ立ツル為ノ数ト心得ベシ、

尊称形容詞

○尊称形容詞ハ、總バテ言葉遣ヒヲ丁寧ニスルハ用フル者ナリ、即御簾、御祝ヒ、御殿等ノ如シ、此ノ言葉ハ、唯名詞ヲ形容スルノミナラズ、外ノ言葉ヲ形容スルヲアリ、即御手前、御早ク、御讀ミ、ノ

一般形容詞

外ノ形容詞ニテナル者

サレ、御勉強ナル事等ノ如シ、世間ノ人、女子ヲ呼ブモ、其ノ名ノ上ニ、オヲ添ヘテ、オ松、オ竹ト云フモ、元ハ敬フ意味ヨリ出デタル故、是亦尊称形容詞トスルナリ、○一般形容詞ハ、数形容詞ト、尊称形容詞トノ二ヲ取り除ケタル、其ノ外ノ形容詞ヲ云フナリ、○形容詞ハ、種々ノ言葉ヨリナル、等ヲ覆ミテ之ヲ形ルヲアリ、即其ナル人ト云フハ、代名詞状ノ形容詞、口惜ノ事ト云フハ、動詞状ノ形容詞、何時ノ世ト云フハ、副詞状ノ形容詞ナリ、

合成形
容詞

日本小文典
卷之止

○形容詞ニモ、合成シタル言葉甚多シ、物憂時
乘リ善キ馬ノ物ハ名詞、乘リハ動詞ナレ共、憂キ
善キト合シテ、熟語トナリタル上ハ、一ハ形容詞
ト見做スベキナリ

日本小文典卷之上終リ

日本小文典卷之下

動詞

中根淑著ス

○動詞ハ、働キラナス言葉ニシテ、即視ル・聴ク・喜
ブ・怒ル・往ク・来ル・取ル・遣ル等、如キ類ヲ云フ、凡
語シニテモ、文章ニテモ、此ノ動詞ト云フ者ナキ
モハ、其ノ意味通ゼザル故、言葉ノ中ニ於キテ、至
リテ肝要ナル者ナリ、

動詞ノ中、種類甚多シ、即單用動詞・重用動詞・自動
詞・他動詞・順動詞・逆動詞・規則動詞・不規則動詞及

單用動詞

ビ・助動詞分詞等ノ差別アリ、
○單用動詞トハ、初メニ舉ゲタル・視ル・聴ク・ノ如ク、唯一言ニテ、其ノ勸キヲ言ヒ盡クス者ヲ云フ、
即花ヲ視ル・話シヲ聴クト云ヘバ、唯一言ニテ、其ノ意味全ク盡クルガ如シ、

重用動詞

○重用動詞トハ、動詞ヲ重子テ用フルヲ云フ、即花ヲ視盡クス・話シヲ打チ聴ク・ノ如シ、是ハ一ノ動詞ニテハ、其ノ意味ヲ盡サバル故、箇様ニ重子テ用フルナリ、其ノ言葉ノ掛リ方ニ由リテハ、視盡クス勿レ・打チ聴ク能ハス・杯ト、三モ四モ、重メ

自動詞

ル・アリ、

他動詞

○自動詞トハ、其ノ言葉獨自働キヲナシテ、外ノ言葉ニ、意味ヲ移サヌ者ヲ云フ、比ヘバ、彼ハ行クト云ヘバ、行クト云フ言葉、彼ノ勸キヲ顯シタルノミニテ、別ニ外ノ言葉ニハ、移ラザルナリ、
○他動詞トハ、其ノ言葉ノ意味上ノ幾言ニモ、通ジテ移ル者ヲ云フ、即彼ハ學校へ行クト云ヘバ、行クト云フ言葉、彼ヨリ學校へ掛ケテ移リ、彼ハ吾ト學校へ行クト云ヘバ、彼ヨリ吾ト學校トヘ掛ケテ移ルナリ、此ノ類ノ言葉ヲ他動詞ト云フ、

順動詞
逆動詞

○動詞中我ヨリ働キ掛クル言葉ヲ順動詞ト云
 ヒ、我が受ケ身ニナル言葉ヲ逆動詞ト云、即貞
 時又久明親王ヲ廢ス其ノ子守邦王大將軍ニ任
 セラルト云フ文ノ廢スト云フ動詞ハ貞時ガ久
 明親王ヘ、働キ掛クル故、順動詞ナリ、任ゼラル
 ト云フ動詞ハ、守邦王ガ受ケ身トナリテ、外ヨリ
 仕掛ケラル、故、逆動詞ナリ、此ノ差別善ク察
 スベシ、
 人ヲ尊ム言葉遣ヒニハ、逆動詞ヲ順動詞ニ用フ
 ルアリ、目上ノ人ノ言ヒ出スヲ、仰セラル、

規則動
詞

ト云フカ、如シ、
 ○規則動詞トハ、動詞ノ語尾ヲ種々ニ變スルニ、
 定リタル規則アルヲ云フ、是ニ五ノ種類アリ、即
 四段一段中二段下二段三段等ノ働キノ差別アリ、
 委キ一ハ、下ノ圖ヲ見テ知ルベシ、

四段

飽	押	打
カキ	サシ	タチ
クケ	スセ	ツテ
其ノ語尾ヲ、縦	行中ノ四段ニ	變ズ、一段ノ働
四段ノ働キハ、		キハ、外ノ段ヘ

キ働ノ段一

キ働

起

釣 住 逢

ハ	マ	テ
ヒ	ミ	リ
フ	ム	ル
ヘ	メ	レ

キ 居 見 干 似 著 射

フ	ム	ル
ヘ	メ	レ

變ゼズ、中二段
 ノ働キハ、縦行
 中ノ中二段ニ
 變ズ、其ノ餘ノ
 段モ、之ヲ推シ
 テ知ルベシ、
 茲ニ示シタル、
 飽ヲ押ス等ノ
 言葉ハ、唯例ニ
 擧ゲタルノミ

キ働ノ段二中

下

捨 瘦 受 得 率 舊 老 試 戀 落

キ リ イ ミ ヒ チ

ツ	ス	ク	ウ	ウ	ル	ユ	ム	フ	ツ
テ	セ	ケ	エ						

ニテ、是ニ限リ
 タル譯ニハ非
 ズ、比ヘバ行ク
 ト云フ言葉モ、
 行カニ行キ行
 ク、行ケト四段
 ニ働キ、益スト
 云フ言葉モ、益
 サニ益シ、益ス
 益セト四段ニ

二 段ノ勸キ

三 段ノ勸キ

兼 辨 譽 消 枯 饑 為 約

又	フ	ム	エ	ル	ク	シ
子	へ	メ	エ	レ	エ	ス
セ						

勸クガ如シ、外ノ段ノ言葉モ、皆此ノ通りナリ、三段ノ勸キハ、唯一ノ為ノ字ノ變化ト、漢語トニ、限ルナリ、元來漢語ニ

不規則動詞

ハ、シ・ス・セ・ヲ添ヘザレバ、動詞トナラザル故、之ヲ着ケタル儘、一ノ言葉トスルナリ、或ハ文章ノ模様ニ由リテ、之ヲ略スルモアリ、縦横奮撃之ヲ破ル・ト云フ文ノ奮撃ハ、動詞ナレ共、語尾ヲ略スルガ如シ、約ノ字ハ、漢語ノ例ニ擧ゲタル者ナリ、何レノ段ニテモ、語尾ヲ濁ル言葉ハ、其ノ變化モ、皆濁ルナリ、閉ヂ・閉ヅ・續ビ・續グ・感ジ・感ズ等ノ如シ、

○不規則動詞トハ、總ベテ前ニ擧ゲタル規則動詞ノ圖ニ當ラズ言葉ヲ云フ、即來ハ來・來ト中二

段ノ外、別ニ来トモ變ズル故、不規則動詞ナリ、此ノ類ノ言葉ハ、外ニハ無キナリ、
ミヲ語尾ニ持チタル、善シ・惡シ・強シ・弱シ・高シ・低シ・等ノ言葉モ、不規則動詞ナリ、此ノ言葉ハ、必加縦行ノ變化ヲモスルナリ、即善キ・善ク・惡キ・惡ク等ノ如シ、

又ミヲ語尾ニ持チタル、嬉・悲・樂・苦等ノ言葉モ、不規則動詞ナリ、此ノ言葉ハ、必別ニ加縦行ノ變化ヲモスルナリ、即嬉キ・嬉ク・悲キ・悲ク等ノ如シ、
右兩様ノ動詞、加縦行杯ノ變化ヲナス中ハ、規則

助動詞

動詞ナリ、然レ共ミヲ以終ルキハ、一種異リタル形ノ動詞故、不規則動詞トスルナリ、

○助動詞ハ、大抵動詞ノ後ニ添フテ、其ノ意味ノ足ラス所ヲ、十分ニスル者ナリ、比ヘバ流サ・流レト云ヒタル計リニテハ、其ノ意味未足ラス、之ニ流サン・流レリト、助動詞ヲ添フル中ハ、其ノ意味全ク足ルナリ、故、此ノ助動詞ニ、時ト云フコトアリ、
是、過去・現在・未來ナリ、

過去

○過去トハ、最早過ぎ去リタル時ヲ顯スヲ云フ、之ニ充分ト不充分トハ、別チアリ、充分過去トハ、

現在

其ノ時既過ギ去リテ、遠キ前ノトトナリタルヲ
云フ、即昔ハ學校鮮クアリシノ如シ、不_レ充分過去
トハ、其ノ事前ニ在_レ共、全クハ過ギ去ラヌ者ヲ
云フ、即近頃数多ノ學校ヲ建テリノ如シ、
○現在トハ、今為ス時ヲ顯スズ云フ、之ニ亦充分
現在ト云フアリ、是ハ其ノ事今僅ニ終ルヲ云フ、
即余書ヲ讀ミ了_リタリノ如シ、其ノ充分ナラザ
ル者ハ、今丁度之ヲ為スヲ云フ、即余書ヲ見ルノ
如シ、扱此ノ時ヲ顯ス言葉ハ、何レモ助動詞ヲ假
ルヲナレ共、唯現在ノ動詞ノミハ、之ヲ假ル者ト、

未來

假ラス者トアリ、此ハハ、飽_ル、飽_ク、約_ス、約_ム、
約セ_シ、如ク、如何程語尾ヲ變化シテモ、意味ニ於
キテ充分ナルキハ、別ニ助動詞ヲ用ヒズ、落ツル
試ムル、約スルノ如ク、助動詞無ケレバ、其ノ意味
充分ナラヌキハ、之ヲ添フルナリ、
○未來トハ、今ヨリ後ノ時ヲ、前以顯スヲ云フ、是
ニモ充分ト不_レ充分トノ別チアリ、充分未來トハ、
其ノ事全ク後ニ在リテ、他ノ時ニ關ラヌ者ヲ云
フ、即余ハ明日讀マシ、如シ、不_レ充分未來トハ、過
去ノ事ニテモ、現在ノ事ニテモ、大方是ハ箇様ナ

ラント、推量スルヲ云フ、即彼ハ讀ミタラシノ如シ、

助動詞ノ圖

充分 現在		不充分 過去		充分 過去	
ナラ	タラ	ツ	リ	キシ	ケリ
ナリ	タリ	ツル	ヌ	シ	ケル
ナレ	タル	ツレ	ヌル		ケレ
	タレ		ヌレ		

助動詞ヲ重子タルナリケリタリシノ類ハ上ノ言葉ハ其ノ事柄、時ヲ示シ下ノ言葉ハ之ヲ語ル時ヲ示スナリ例ハ

充分 未来		不充分 未来		現在	
ナシ	タシ	ン	ラレ	ル	ラク
タラン	ナシ	ナン	ラレ	ラレ	ツ
ソラン	タラン	ラン			

云フハ行キタリ其ノ行キタリヲ語ニ付キテ充分過去ノシヲ用

不成功

ヒタルナリ、其ノ外ノ言葉モ皆此ノ例ナリ、

○前ニ舉ゲタル助動詞ノ外別ニ不成功助動詞ト

云フ者アリ、是ハ前ノ事ヲ打ち消シテ成シ遂ダ

ヌ様ニスル言葉ニシテ現在ト未来ト時ヲ顯セリ、即見ズ見ジノ如シ、若過去ヲ顯サントスル

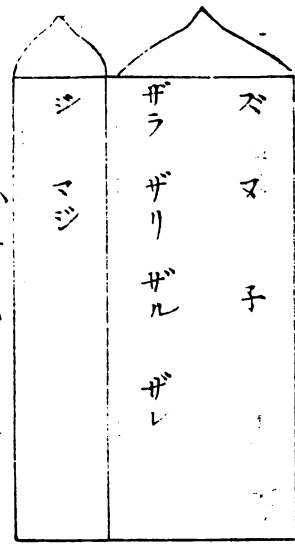
普通助動詞

片ハ、前ニ舉ゲタル過去ノ助動詞ヲ添ヘテ、之ヲ示スナリ、即見ザリシ、如シ、

不成助動詞ノ圖

現在

未來



持ハ、語尾ニシテ、故、別ニマシ、變化ヲナスナリ、

○助動詞及ビ不

成助動詞ノ外、別

ニ普通助動詞ト

云フアリ、即吾カ

人カ見ルヤ見ザ

ルヤ童ヨ學ベヨ

樂キカナ等

ヤヨカ、如キ

半助動詞

法動詞

是ナリ、凡助動詞ハ、皆一ノ時ヲ持チタル者ナレ

共、是ハ上ノ言葉ノ時ニ随ヒ、三時ニ通ジテ用フ

ルナリ、比ヘバ見シカト云ヘバ過去、見ルカト云

ベバ現在、見ンカト云ヘバ、未來ナリ、が如シ

○動詞ノ形ヲ具ヘタル言葉ニテ、助動詞ノ如ク、

外ノ言葉ノ後ニ就キテ、其ノ意味ヲ助ケ成ヌ者

アリ、之ヲ半助動詞ト云フ、即視ル可シ、聴キ得ル

言ヒ能フ、動カ使ム等ノ類ナリ、

○動詞ニハ、法ト云フ者アリ、是ハ過去、現在、未來

ニ拘ラズ、其ノ言葉ノ屬スベキ、定リアルヲ云ス

比へバ・余行クト云へバ、直ニ自分ノ行クトヲ顯シ、君行ケト云へバ、人ヲ勸メテ行カシムルヲ顯スナリ、今此ノ類ヲ分チテ四法トス、即直說法・不成法・疑問法・命令法等ナリ、

直說法

○直說法ハ、其ノ儘ノ働キヲ顯ス者ナリ、即書ヲ讀メリ・字ヲ習フ・算ヲ學バン等ノ如シ、

不成法

○不成法ハ、総ベテ其ノ言葉ヲ打チ消ス働キヲ顯ス者ナリ、即書ヲ讀マガリキ・字ヲ學バズ・算ヲ學バザラン等ノ如シ、其ノ他・讀マンヤト云フ反語ハ、不成法ナレ共、讀マガランヤト云フキハ、却

リテ讀ムトナル故、不成法ヲ持チタル直說法ナリ、

疑問法

○疑問法ハ、疑ハシキトヲ尋ヌル働キヲ顯ス者ナリ、即讀ムヤ・學バザルヤ等ノ如シ、此ノ學バザルヤノ類ハ、不成法ヲ持チタル疑問法ナリ、

命令法

○命令法ハ、命ズルトヤ、願フトヤ、又ハ戒ムルトヤ、働キヲ顯ス者ナリ、即讀メ・教ヘラレヨ・勉ムバシ等ノ如シ、又・忘レザルバシノ如キハ、不成法ヲ持チタル命令法ト知ルベシ、

分詞

○分詞ハ、動詞ト同形リノ言葉ナリ、唯常ニ名詞

ノ上ニ在リテ、之ヲ形容シ、半分ハ動詞ノ如ク、半
分ハ形容詞ノ如クナル故、之ヲ分詞ト云フ、比ヘ
バ、働ク時ハ勞ヲ厭ハズト云フ文ノ働クハ、動詞
ナレ共時ト云フ名詞ヲ形容スルヲ以見レバ、形
容詞ノ状モアルナリ、此ノ類ノ言葉ヲ分詞ト云
フナリ、

助動詞
ヲ添ヘ
タル分
詞

○分詞ハ、助動詞ヲ添ヘタル儘、名詞ヲ形容スル
ト多シ、即知ラヌ事ハ知リタル人ニ問フヲ恥ナ
ズノ如シ、

成句分
詞

○種々ノ言葉ヲ合ハセラ句トナシ、其ノ句ヲ以

合成動
詞

名詞ヲ形容スル者ヲ成句分詞ト云フ、即陸地ノ
間ヲ流ル、水ト云フ文ハ、唯流ル、ト云フ言葉
ノミガ水ト云フ名詞ニ掛ルノミナラズ、陸地ノ
間ヲト云フ處ヨリ、合ハセテ掛ルナリ、是等ノ類
ヲ成句分詞ト云フ、

○動詞ノ上ニ、外ノ言葉ヲ持テタル者モ、熟語ト
ナリタルキハ、一ノ動詞ト見做スベシ、比ヘバ、氣
遣フ直諫ス等ノ氣ハ名詞、直ハ副詞ナレ共、何レ
モ下ノ動詞ト熟シテ、一語トナリタル者故、合成
動詞トスルナリ、

副詞

○副詞ハ、大抵動詞ノ上ニ副フテ、動詞ノ様子ヲ、細ニ顯ス者ニシテ、猶名詞ノ上ニ形容詞ヲ添フルガ如キ者ナリ、其ノ言葉ヲ細ニ分ツキハ、六ノ種類アリ、即作為地位時刻分量決定非否等ナリ、作為トハ、自然ニ為ルヲ、又ハ人ノ為スヲ有リ様仕方ヲ云フ、即漸晴ル・善ク讀ム・何ゾ知ラン等ノ如シ、是ノ何ゾハ、動詞ヲ強ク押ヘテ、及語トス自異リ、地位トハ其ノ場所ヲ云フ、即何レニ往ク此處ニ至ル等ノ如シ、時刻トハ時ノ早サ遲サヲ

云フ、即何時及ビ徐ニ速ニ等ノ如シ、或ハ地位ノコハ、ソコ・フ、時刻ニ用フルヲアリ、コハニ於キテソコデ往ク等ノ如シ、分量トハ大サ小サ多サ寡サヲ云フ、即大ニ喜ブ・甚身シ等ノ如シ、決定トハ、物事ヲ體ニ定ムルヲ云フ、即必為ス・誠・樂シ等ノ如シ、非否トハ否ミ嫌フヲ云フ、即否否々等ノ如シ、

○副詞ハ、形容詞ト似タル者ニテ、唯其ノ語尾ト、添フベキ言葉トヲ異ニス、其ノ類四アリ、第一形ヲ變ゼサル者、第二語尾ニクヲ持ツ者、第三後詞

形ヲ變
ゼザル
副詞

語尾ニ
ハテ持
ツ副詞

ニテ添
フル副
詞

ノニヲ添フル者、第四動詞ヨリ變ズル者

○形ヲ變ゼザル者トハ、初メヨリ副詞ニ作リタル言葉又、其ノ儘用フル者ヲ云フ、即各處唯、殆、稍、略、頗、甚等ノ類ナリ、

○語尾ニクヲ持ツ者トハ、即善ク讀ム、惡ク書ク、淺ク掘ル、深ク浚フ、樂ク送ル、美ク咲ク等ノ如シ、

○後詞ノニヲ添フル者トハ、即愚ニ考フ、暖ニ照ラス、柔和ニ言フ等ノ如シ、

或ハ實ニ以ト云フヲ、實以ト云ヒ、縱横ニ奮撃スト云フヲ、縱横奮撃スト云フ如キハ、皆ニヨリ略シ

動詞ヨ
リ變ズ
ル副詞

タル者ホリ、

○動詞ヨリ變ズル者トハ、其ノ形ハ動詞ト同ケ共、全ク副詞トシテ用フル者ヲ云フ、即行ク々々見ル、至リテ尊シ等ノ如シ、

右ノ外、最モ多クハ、熟ト等ノ如ク、種々ノ後詞ヲ添ヘタル副詞アレ共、縱令之ヲ添ヘザルモ、副詞ニ相異ナキ者ナレバ、前ノ名詞ニニヲ添ヘテ、副

詞トスルトハ異リテ、規則中ニハ非ザルナリ、

○凡副詞ニ二ノ差別アリ、之ヲ正用副詞變用副

詞ト云フ、

正用副詞

○正用副詞トハ、副詞ノ持チ前ノ遣ヒ方ニテ、必
動詞ノ上ニ添フテ、其ノ動詞ノ働キヲ、細ニ顯ス
者ナリ、即會遇フ、強ク擊ツ等ノ如シ、或ハ二三詞
ヲ越シテ、上ヨリ動詞ニ添フ者アリ、即深ク此ノ
理ヲ知ルノ如シ、
非否ノ言葉ハ、外ノ副詞ト異リテ、動詞ノ上ニ添
ハザレ共、是亦正用中ノ者トス、
○副詞ハ動詞ニ添フヲ以、當然トスレ共、中ニハ
外ノ言葉ニ添フアリ、之ヲ變用副詞ト云フ、即
僅東ト云フハ名詞ニ添ヒタル者、正ニ是ト云フ

變用副詞

成句副詞

合成副詞

ハ、代名詞ニ添ヒタル者、大ニ赤ト色ト云フハ、形
容詞ニ添ヒタル者、正ニ且ト云フハ、接續詞ニ添
ヒタル者、只正ニト云フハ、重子テ副詞ニ添ヒタ
ル者ナリ、其ノ外蓋此ヲ謂フナリ、ノ類ハ、蓋ノ字
下ノ全句ニ掛ル者ニシテ、亦變用副詞ナリ、
○一句ノ儘、動詞ニ添フ者ヲ、成句副詞ト云フ、即
思ニ寄ラズ逢フノ如キ類ナリ、是ハ思ニ寄ラズ
ト云フ、組ミ立テタル言葉ガ、其ノ儘逢フト云フ
動詞ニ添フト故、一句ヲ以副詞ト見做スナリ、
○副詞中、外ノ言葉ト熟シテ用フル者ヲ、合成副

詞ト云フ、即此處其處ノ如キモ、上ノ此其ハ代名
詞、下ノ處ハ名詞ナリ、又心苦ク手輕クノ類モ、上
ノ言葉ハ名詞ナレ共、何レモ合ハセテ一ノ副詞
トスベキナリ、

後詞

○後詞ハ、名詞又ハ他ノ言葉ノ下ニ着キテ、種々
ノ意味ヲ、細ニ顯ス者ナリ、日本ニテハ、話シニテ
モ、文章ニテモ、此ノ後詞ト云フ者無キハ、少モ
其ノ意ヲ通ズル能ハザルナリ、即海トハ兩陸ノ
間ニ分マリタル所ヲ云フトアル文ノトハ、ノニ

單用後
詞

ヲノ類、皆之ヲ後詞ト云フ、抑此ノ後詞ノ大切ナ
ルヲハ、其ノ使ヒ方、少ニテモ無理ナル所アレバ、
全ク其ノ意味ヲ成サヌ故ナリ、比ヘバ、水ヲ器ニ
入ル・ト云ヘバ、器ノ中ヘ水ヲ入ル・ト云ヘバ、水ニ器ヲ
入ル・ト云ヘバ、水ノ中ニ器ヲ入ル・ト云ヘバ、唯ニ
トヲトヲ置キ代ヘルノミニテ、其ノ意味全ク反
對スルナリ、今之が種類ヲ分チテ二トス、一ヲ單
用後詞ト云ヒ、一ヲ重用後詞ト云フ、
○單用後詞トハ、唯一ノ言葉ニテ、其ノ意味ヲ充
分盡リス者ヲ云フ、即ハ・バ・ニ・ヘ・ト・ド・ヲ・ガ・ヨリ・バ・

ナド・ナガラ・ノ・ノミ・ヤ・マデ・コソ・テ・デ・モ・スラ・等ノ

類ナリ、

動詞後

○重用後詞トハ、唯一ノ言葉ノミニテハ、其ノ意味ヲ盡クサヌル、之ヲ重子テ用フル者ヲ云フ、即

ニハ・ニヅ・ニテ・ニモ・トハ・トヅ・トモ・ドモ・ヲバ・テハ・

デハ・ヨリモ・マデモ・等ノ如シ、其ノ三重子タル、ニ

テハ・ニテ・モ・マデ・ニハ・トノミ・ヅ・等ノ如キモ、亦重用

後詞ナリ、

動詞後

○以上数多ノ後詞中、バ・ド・テ・テ・ノ四ハ、動詞ニノミ著ク者ナレバ、之ヲ動詞所屬ノ後詞ト云フ、其

ノ直ニ外ノ言葉ニ著キタルハ、必動詞ヲ略シタル者ナリ、斯ク在リテ、スルテト略スルガ如シ、

○後詞ト普通助動詞トハ、似寄リタル者故、其ノ別チニ迷フ者アラン、然レ其後詞ハ、言葉ノ模様

ヲ言ヒ起ス為ノ者、普通助動詞ハ、言葉ヲ結ブ為ノ者ナリ、但シ、ヅ・ノ・ミ・ノ如キハ、稀ニ結ビノ場所

ニモ置クアレ共、矢張り後詞トスルナリ、

○重用ノ後詞ハ、各其ノ言葉ノ意味ヲ持チタル者ナレ共、稀ニハ・ト・モ・バ・ヤ・ノ如ク、少ク其ノ義理

ノ變ルヘイリ又助動詞ト合シテ、ハ・ノ如ク、

者ナレ共、稀ニハ・ト・モ・バ・ヤ・ノ如ク、少ク其ノ義理

ノ變ルヘイリ又助動詞ト合シテ、ハ・ノ如ク、

者ナレ共、稀ニハ・ト・モ・バ・ヤ・ノ如ク、少ク其ノ義理

ノ變ルヘイリ又助動詞ト合シテ、ハ・ノ如ク、

反語トナル者モアリ、

接續詞

○接續詞ハ、前後ニ在ル種々ノ言葉ヲ、結ビ付クル者ナリ、即尤大ニシテ且明ナル曉星又タ星ト云フノ類ノ如シ、其ノ言葉、大抵且而則但シ、諸猶又將等ナリ、

○接續詞ニ、單用重用ノ別チアリ、前ニ舉ゲタル例ノ如キハ、唯一ノ言葉ヲ用ヒタル者故、單用ナリ、且又將又ノ如ク、二ノ言葉ヲ重子テ用ヒタル者ハ、重用ナリ、

單用接續詞重用接續

動詞狀詞接續

合成接續詞

○及ビ並ビニ、ノ如キ言葉ハ、動詞ノ形ヲ持チタル者故、動詞狀ノ接續詞ナリ、故ニ遂ニノ如キ言葉ハ、副詞ノ狀ヲ持チタル者故、副詞狀ノ接續詞ナリ、

○而加之等ノ言葉ハ、其ノ書キタル漢字ヲ目當テニ、接續詞トナシテ、別ニ其ノ言葉ヲ分ツニ及バズ、是ノ故ニ然レ共ノ如キハ、文字ニモ、種々ノ言葉ヲ書キ分クル程ナレバ、一ノ言葉ニハアラ子共、何レモ前後ヲ結ビ付クル者ナレバ、合成接續詞トスルモ、妨ゲナキナリ、

感歎詞

○感歎詞ハ、話シヤ文章ノ間ニ於キテ、喜ビ怒リ
哀シ樂シ驚キ畏シ等ノ聲ヲ、不意ニ投ゲ入ル、
ヲ云フ、故ニ之ヲ間投詞トモ云フナリ、即イデ、イ
ザ・オ・ハ・ア・イ・等ノ如シ、其ノ外俗ニ用フル感歎詞
ハ、誠ニ数多アリ、即ハア・ワア・オヤ・等ノ類ナリ、

○種々ノ言葉ヲ、一ニ合ハセテ、感歎詞トスルア
リ、アラ憾メシヤノ如シ、

以上名詞ヨリ感歎詞ニ至ル迄、八通りニ分チ
タル言葉ヲ、八品詞ト云フ、此ノ八品詞ノ内、何

合成感
歎詞

冠詞

○冠詞ニモ、拘リ合ヒアル言葉アリ、之ヲ下ニ掲グ

○冠詞或ハ枕言葉共云フ、是ハ其ノ目指ス言葉

ヲ、云ヒ出ス為ニ、上ニ置ク言葉ニシテ、其ノ中ニ

重ナル意味アルニハ非ザルナリ、比ヘバ、千盤破

ル神ノ世、片絲カクム寄リ々々等ノ如シ、是ハ神ト云

ハンガ為ニ、神ヲ賛ホムムル言葉ヲ、前ニ置キ、寄リ々

々ト云ハンガ為ニ、絲ヲ撚カルト云フ言葉ヲ假レ

ルナリ、尤是ハ近キ躰ノ文ニハ用ヒザルナリ、

掛言葉

○拙ク言葉ハ、其ノ言葉ノ外ニ、別ニ一ノ意味ヲ持タセタル者ナリ、即知ルモ知ラヌモ逢フ・ト云フヨリ、其ノ逢フヲ假リテ、直ニ逢坂ノ關ト云ヒ美濃尾張ト云フ中ニ、身ノ終リト云フ意ヲ持タセタル類ナリ、是モ當時ハ、餘リ用ヒザルナリ、

複語

○複語ハ、重子言葉ナリ、名詞代名詞ノ山々・是々ノ如キハ、皆複数ヲ顯ス為ニ用フルナリ、其ノ外早々・田々・田々・又々・嗚呼々々ノ如キハ、唯意味ヲ強ムル為ニ用フルナリ、

熟語

○熟語ハ、前ニモ度々舉ゲタル如ク、二三ノ言葉ヲ合ハセタル者ナリ、比ヘバ形ト云フ言葉ト作ルト云フ言葉ト合ハセテ、形ルト云フ言葉トナシタル類ナリ、其ノ外無理・非道ノ類モ、音ニテ讀ム上ハ、熟シテ一ノ言葉ト見做スベシ、

○文章論

起語結語

○文章ハ、已ノ思フ所言フ所ヲ記ス者ニシテ、二三ノ言葉ヨリ、數萬ノ言葉ヲ合ハセタル者迄、總

日本小文典 卷之下

ベテ之ヲ文章ト云フナリ、此ノ文章ニ、起語結語
ト云フヲアリ、起語トハ言ヒ起ス言葉、結語トハ
其ヲ止ムル言葉ナリ、比へバ、人ハ過グト云フ文
ノ、人ハト云フハ、起ス言葉、過グト云フハ、其ヲ止
ムル言葉ナリ、

此ノ起語ト結語トニ、自然極リタル法アリテ、其
ノ言ヒ起シ方ニ由リ、結ビ方モ從フテ異ルナリ、
比へバ、人ハト起セバ、過グト止ム、人ヤト起セバ、
過グルト止ムルガ如シ、猶下ノ章ニ、其ノ謂ヲ説
カン、

第一第二
第三
起語

○起語ニハ、ハ・モ・徒・ヅ・ハ・何・コソ・ト云フ、ハノ言
葉遣ヒアリテ、結語ト睨ミ合フナリ、其ノ中ハ

モ・バ・ノ・ヤ・コソ・ハ、皆後詞ナリ、後詞ハ、皆起語ナレ

ビ、アル者ト知ルベシ、徒トハ、人過グト云フ如ク、

ハ、其ヤ、其バ、其付ケヌヲ云フ、何トハ、誰カ、如何ニ

ノ如ク、疑ヒノ意ヲ持テタル言葉ノ總名ニシテ、

誰カ過グルト云フ様ナル類ナリ、

叔此ノハノ起語ヲ、部分ケスルキハ、第一ヲハ・モ・

徒・トシ、第二ヲバ・ノ・ヤ・何トシ、第三ヲコソトス、之

ヲ三條ニ分ツ所以ハ、其ノ結ビ言葉ニ、三ノ違ヒ

ヲナスヲ以ナリ、
 ○結ビ言葉ニ、三ノ違ヒアルト云フ謂ハ、取り摘
 ミテ云ヘバ、ハ・モ・徒ヲ結ハ言葉ハ、語尾ニ字横行
 ハ音ヲ持ツ者ナリ、人ハ過ダノ如シ、バ・ノ・ヤ・何ヲ
 結ブ言葉ハ、其ノ言葉ノ下ニルヲ添フ、人ヤ過ダ
 ルノ如シ、コソヲ結ブ言葉ハ、其ノ言葉ノ下ニレ
 ヲ添ス、人コソ過ダレハ如シ、猶下ノ圖ヲ見テ之
 ヲ覺ルベシ、

起語結語ノ圖

ハ モ 徒	ハ モ 徒	グ ノ ヤ 何	コ ソ
ウ 植 得 ウ	ウル 植 得 ウル	ウ レ 植 得 ウレ	ウ レ 植 得 ウレ
ク 來 過 ダ	クル 來 過 ダ	ク レ 來 過 ダレ	ク レ 來 過 ダレ
ス 任 寄 ス	スル 任 寄 スル	ス レ 任 寄 スレ	ス レ 任 寄 スレ
ツ 立 出 ヅ	ツル 立 出 ヅル	ツ レ 立 出 ツレ	ツ レ 立 出 ツレ
ヌ 尋 車 ヌ	ヌル 尋 車 ヌル	ヌ レ 尋 車 ヌレ	ヌ レ 尋 車 ヌレ
フ 添 媚 フ	フル 添 媚 フル	フ レ 添 媚 フレ	フ レ 添 媚 フレ
ム 止 詠 ム	ムル 止 詠 ムル	ム レ 止 詠 ムレ	ム レ 止 詠 ムレ
ユ 見 聞 ユ	ユル 見 聞 ユル	ユ レ 見 聞 ユレ	ユ レ 見 聞 ユレ
ル 乱 流 ル	ル 、 乱 流 ル	ル レ 乱 流 ルレ	ル レ 乱 流 ルレ

ハモ徒及ミ
 言葉ハ、輕キ
 阿ノ言葉ハ、
 重キ言葉ニ
 ナル故、二
 ノ者重ル
 方ニ由リ
 テ結ズ、
 ノハガト
 通タル者
 ニシテ、動
 詞ニシテ、
 ノ意盡ク
 ル者ナリ、
 即ノ類ノ
 リ、

日本書紀
卷之二十一
孝武天皇
二十一年

不成助其動
詞、及、助
ノ、外、助
動、詞、由、起
語、ニ、由、リ
テ、結、ビ、方
各、變、ル
ナ、リ、ル

ウ	飢率 ウウ	ツ	言ヒツツ	又	成リヌ	キ	問ヒキ	リ	有リ	シ	善シ	ク	書ク	ス	殘ス	ビ	ニテ	ヲ付	能ハザル
ウル	飢率 ウル	又	知ラヌ	又	成リヌ	シ	問ヒシ	ル	有ル	キ	善キ					第 三ノ 結	ニテ	ヲ付	能ハザル
ウレ	飢率 ウレ	子	知ラチ	又	成リヌ	シ	問ヒシカ	レ	有レ	ケ	善ケレ	ケ	書ケ	セ	殘セ	セ	ニテ	ヲ付	能ハザル

言ハ、葉ハ、
一ノ如ク、
其ノ儘ニ
結ブ、

フ	言フフ	フ	思フ	ル	契ル
尾ヲ葉ハ、 横語	行ニ變ジ	テ	結ブ		
ヘ	言ハヘ	メ	住メ	レ	契レ

轉語略語

○轉語トハ、前ノ法ノ如ク、上ノ言葉ヲ結フベキ
筈ナルニ、猶言ヒ足ラヌ所アル故、下ヘ移シ續ク
ル言葉遣ヒナリ、比ヘバ、學校ニ出デ、ハ書物ヲ
讀ミ又手習ヒスベシト云フ文ニテ云ハバ、學校
ニ出デ、ハ書物ヲ讀ムト結フベキヲ、下ヘ移ス

為ニ、讀ミト云フガ如シ、然レ共是ハ一度移シテ
モ、二度移シテモ、必終リニ至リテ、之ヲ結ブナリ、
即手習ヒスベシト結ベルガ如シ、

○略語トハ、上ノ言葉ヲ、助動詞ニテ結ブキ、或ハ
之ヲ省キテ、用ヒザルヲ云フ、比ヘバ、遊歩ヲ為ス
ハ運動ノ為ト云フ文ハ、運動ノ為ナリト結ブベ
キヲ、略シタルガ如シ、

○起結轉略ノ謂、前ニ舉ゲタルガ如クナレ共、初
學ノ覺リ易カラシム、為、短キ文ヲ下ニ舉ゲテ、其ノ
例ヲ知ラシム、

水氣ノ起多ク蒸騰シ轉テ、太陽ノ光ニ映ズル結
ナガラ時ハ、起虹ト為ル結虹ニハ、起其ノ色起
轉ズリ、結上ハ起赤色ニシ轉テ、次ヲ紺色トス、結黃
色起之ニ次ギ、轉綠色起又之ニ次ゲ、結次ハ起青
色、略次ハ起紺色、略次ハ起紫色ナリ、結

變格

○變格トハ、起語ト結語ト、前ノ法ノ如ク、睨ミ合
ハザル者ヲ云フ、即ヤ何ノ起語ハ、何レモ第二ノ
結語ニテ、結ブベキヲ、第一ノ結語ニテ結ブヲ云
フ、比ヘバ、賜ヤ過ギタルト云フベキヲ、賜ヤ過ギ

タリト云ヒ、孰カ之ヲ命ズルト云フベキヲ、孰カ之ヲ命ズト云フガ如シ、

○音調論

緩急音

○緩トハ、言葉ヲ柔ク遣フナリ、即筭^{カミカキ}ヲ・カウガ
イ、書キテ・ヲ書イテト云フガ如シ、急トハ、言葉ヲ
強ク遣フナリ、即涕^{タリ}ヲナシダ、取りテ・ヲ取ツテ
ト云フガ如シ、

曲直音

○言葉ヲ出スニ、同聲ニテモ、其ノ儘真直ニ出ス

熟語音

トト、曲ゲテ出ス^トアリ、即橋ト箸^シ、飴^アト雨ノ如シ、

○三ノ言葉ヲ熟シテ、一言葉トナシタル者ハ、
其ノ都合ニ由リテ、音ヲ濁リ、又ハ變ズルナリ、
即鬼瓦^{カニガ}日本橋^{ニホンハシ}ト云ハズシテ、鬼ガハラ・日本バシ
ト濁リ、上書キ、雨宿^{アメヤド}リ、新板^{シンイタ}ト云ハズシテ、ウハ書
キ、ア音宿^{アヤド}リ、新ハ音^{シン}ト云フガ如シ、

漢字音

○漢字ニハ、一文字ニテ、漢音ト吳音トノ二ヲ持
チタル者多ク、比ハ先生^{セイセイ}ハ漢音、養生^{イヤウセイ}

ハ生ハ吳音、經書ノ經ハ漢音、佛經ハ經ハ吳音ナ
ルカ如シ、

約音助音

○約音トハ、其ハ儘ニ遣フベキ言葉ヲ、或ハ縮ム、
或ハ省クヲ云、聞キ度クアリシヲ、聞キ度カリ
シト縮ム、持テテヲ、持テト省クガ如シ、助音トハ、
二ハ言葉ノ間ヘ、意味ナキ聲ヲ、助ケ入ルヲ云
フ、沖波頃シモ、無クンバ等ノ如シ、此ノ言葉ハ、
皆後詞ニ属スル者トス、

歌ノ調子

○歌ハ、文章ノ中ノ一端ニテ、其ノ言葉善ク調子
ニ合フヲ第一トス、日本ノ言葉遣ヒニテハ、五文
字ト七文字トノ句、善ク調子ニ合フナリ、故ニ
歌ハ、五文字七文字五文字七文字七文字ト、都合
三十一文字ニテ、作ルナリ、其ノ外長歌ニテモ、發
句ニテモ、又ハ世間ニテ謠フ所ノ、流行謠ノ類ニ
テモ、長キト短キトノ違ヒコソアレ、何レモ五文
字ト、七文字トヲ以、句調ヲナスナリ、但シ稀ニハ
字餘リトテ、五文字ヲ六文字トシ、七文字ヲ八文
字トスルナリ、多クノ歌ニ就キテ、善クタマシ考

へ見ルベシ、

日本小文典卷之下 終り

明治九年八月七日
版權免許

著者 中根淑藏版

東京下谷仲徒士町
四丁目三十二番地

東京馬喰町二丁目一番地

發兌書肆

本林屋治兵衛